

参考文献

- 中央防災会議(2007) 中部圏・近畿圏の内陸地震に係る被害想定手法について～基本被害～,
<http://www.bousai.go.jp/jishin/chubou/nankai/31/siryoul-1.pdf>
- 中央防災会議(2005) 日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震に関する専門調査会,
<http://www.bousai.go.jp/jishin/nihonkaikou/index.html>
- 中央防災会議(2004) 「東南海,南海地震等に関する専門調査会」(第17回)資料1,
http://www.bousai.go.jp/jishin/chubou/nankai/17/siryoul_1.pdf
- 藤本一雄・翠川三郎(2006) 近接観測点ペアの強震記録に基づく地盤増幅度と地盤の平均S波速度の関係, 日本地震工学会論文集, 第6巻, 第1号
- 藤本一雄・翠川三郎(2005) 近年の強震記録に基づく地震動強さ指標による計測震度推定法, 地域安全学会論文集No.7
- 藤本一雄・翠川三郎(2003) 日本全国を対象とした国土数値情報に基づく地盤の平均S波速度分布の推定, 日本地震工学会論文集, 第3巻, 第3号
- 地震調査研究推進本部(2006) 「全国を概観した地震動予測地図」報告書, 《分冊1: 確率的地震動予測地図の説明》,
http://www.jishin.go.jp/main/chousa/06_yosokuchizu/bunsatsul.pdf
- JMCマップ(2007) 日本地図センター
- 自治省消防庁消防研究所(1997) 簡易型地震被害想定システム
- Kanno, T., A. Narita, N. Morikawa, H. Fujiwara and Y. Fukushima(2006) A new attenuation relation for strong ground motion in Japan based on recorded data, Bull. Seism. Soc. Am., 96
- 国土開発技術研究センター(1983) 建設省総合技術開発プロジェクト 都市防火対策手法 成果集成版
- 国土庁(1997) 地震被害想定支援マニュアル
- 国土庁(1999) 地震被害想定支援ツール Ver 99-02-09
- 松岡昌志・若松加寿江・藤本一雄・翠川三郎(2005) 日本全国地形・地盤分類メッシュマップを利用した地盤の平均S波速度分布の推定, 土木学会論文集, No.794/I-72
- 松岡昌志・翠川三郎(1994) 国土数値情報とサイスミックマイクロゾーニング, 第22回地盤震動シンポジウム
- 松崎伸一・久田嘉章・福島美光(2006) 断層近傍まで適用可能な震度の距離減衰式の開発, 日本建築学会構造系論文集, 第604号
- Midorikawa, S., M. Matsuoka and K. Sakugawa(1994) Site effects on strong motion records observed during the 1987 Chiba-Ken-Toho-Oki, Japan Earthquake, 第9回日本地震工学シンポジウム
- 村尾修・山崎文雄(2000) 自治体の被害調査結果に基づく兵庫県南部地震の建物被害関数, 日本建築学会構造系論文集, 第527号

- 内閣府(2005) 地震防災マップ作成技術資料, 2005. 3,
<http://www.bousai.go.jp/oshirase/h17/050513siryu.pdf>
- 大分県(2008) 大分県地震被害想定調査報告書,
<http://www.pref.oita.jp/13550/higaisoutei/index.html>
- 佐伯琢磨・翠川三郎(2001) 住宅建物の経済被害評価のための被害関数の作成－兵庫県南部地震の際の地震保険支払データに基づいて－, 日本建築学会構造系論文集, 第545号
- 佐伯琢磨・中村雅紀・渡辺敬之・翠川三郎(2001) 地震による死傷者数および負傷に対する治療費用の評価方法, 地域安全学会論文集No. 3
- 司宏俊・翠川三郎(1999) 断層タイプ及び地盤条件を考慮した最大加速度・最大速度の距離減衰式, 日本建築学会構造系論文集, 第523号
- 損害保険料率算出機構(2008) 微地形区分データを用いた広域の液化化発生予測手法に関する研究, 地震保険研究15, 2008. 6
- 損害保険料率算出機構(2005) 市街地特性を考慮した地震火災の延焼危険評価手法の開発, 地震保険研究6, 2005. 2
- 武村雅之(1990) 日本列島およびその周辺地域に起こる浅発地震のマグニチュードと地震モーメントの関係, 地震2, 43, 257-265
- 童華南・山崎文雄・佐々木裕明・松本省吾(1994) 被害事例に基づく地震動強さと家屋被害率の関係, 第9回日本地震工学シンポジウム
- Kazue WAKAMATSU and Masashi MATSUOKA(2006) Development of the 7.5-Arc-Second Engineering Geomorphologic Classification Database and its Application to Seismic Microzoning, Bulletin of Earthquake Research Institute, The University of Tokyo, Vol. 81, 317-324
- 若松加寿江・松岡昌志・久保純子・長谷川浩一・杉浦正美(2004) 日本全国地形・地盤分類メッシュマップの構築, 土木学会論文集, No. 759/I-67